



2022-2023年度R.I.テーマ

イマジン
ロータリー

第2960回 例会

2023. 3. 2

会長あいさつ



2022-2023年度 深澤 圭司会長

週報 No.2219
発行 2023年 3月 9日

2022-2023年度
会長 深澤 圭司
幹事 門崎 由幸
副会長 長沼 大策
副幹事 坂本 忠光
編集責任者・公共イメージ向上委員会
副委員長 横山 泰史

ビジター
RID2770
鈴木 隆 様(岩槻RC)

ゲスト
埼玉県赤十字血液センター
事業推進一部長
武井 浩充 様
事業推進一部
献血推進課 主事
宇佐美暢也 様

行事予定

3月16日 60周年記念式典
ロイヤルパインズ浦和

3月23日 定款の規定により休会

3月30日 卓話
ロータリー米山記念奨学生
荘 正宇君

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
本日は岩槻ロータリークラブの鈴木隆様を会員研修例会でお招きしました。どうぞよろしくお願いいたします。

昨日は、会長・幹事、大木60周年記念実行委員長、宇多村式典担当委員長の4人で式典会場＝ロイヤルパインズ浦和へ下見に行ってきました。詳細も打ち合わせ、準備を整えています。来週のクラブフォーラム④で役割分担をお伝えしますのでよろしくお願いいたします。

さて当社はいま新社屋を建てていて、会社前にモニュメントが欲しいと思い、あるアニメキャラクターの石像を購入して設置しました。ところがこの石像を設置した途端、新年例会前に私は体調を崩して例会を欠席し、従業員が大けがをするなど不可解な出来事が起きるようになりました。そこで専務と一緒に厄払いをして、これで大丈夫だろうと思った矢先、若手ホープの従業員が退職してしまいました。家族でその話をしたら父が石像を引き取り玄関前に設置したところ、今度は父が脳梗塞で倒れ上尾中央病院に入院してしまいました。偶然かもしれませんが、もしかしら石像に原因があるかもしれないと思い石像を購入元に返しました。それ以後、不可解な現象は減り、順調に過しています。皆さんも、骨董品やリサイクル品を購入する際はご注意ください。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告

門崎 由幸幹事

◇今月のロータリーレートは1ドル＝136円です。
◇会費の納入の件で、まだ未払いの方がいます。創立60周年記念式典が迫り、それにかかる予算もあるので、取り急ぎお振込みをお願いします。
◇地区からトルコ・シリア大地震の寄付のお願いがきています。理事会で寄付額を諮りたいと思います。
◇あげオイルミネーション実行委員会からお礼が届いていますので回覧させていただきます。



委員長報告

60周年実行委員会 大木保司委員長

会長あいさつにもあったように、4人でロイヤルパインズへ下見・打合せに行ってきました。来賓・地区出向者の出席は回答がきましたが、上尾クラブの会員について出欠席を把握していません。幹事から案内を送付させていただきますので、奥さま・同伴者も含めてご確認させていただきます。
料理やお土産も打合せました。来週の準備例会と式典当日、どうぞよろしくお願いいたします。



60周年記念親睦ゴルフ実行委員会 細野宏道実行委員長

5月25日に上尾・上尾西・上尾北による上尾市内3クラブ合同親睦ゴルフを企画しご案内させていただきました。理事会では協議中ですが、ゴルフ場の都合上、早めのご案内なのと、上尾西・上尾北からは大勢のご参加のご快諾をいただいています。親睦ゴルフ大会＝例会としてのご案内です。大勢の皆さんのご参加をよろしくお願いいたします。



ロータリー財団委員会 斎藤修弘委員長

8月に島村会員から、12月に大木保司会員から、2月に長沼会員からそれぞれ1,000ドルの寄付をいただきました。目標達成までご協力のほどよろしくお願いいたします。



米山記念奨学委員会 宇多村海児委員長

本日、大塚バスターグバナーから10万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。
それと今年度はトルコからの留学生がいて、大地震があったのでIM後の懇親会場で寄付を募り、たくさんのお金が集まり、翌日、学生に直接手渡しできました。皆さま、ありがとうございました。



地区 2023-24年度出向委員 委嘱書授与

須田悦正会員



例会主題

ロータリーのいろは

鈴木 隆 様(岩槻RC)

まずは、上尾クラブ様今年度60周年誠にありがとうございます。格式と伝統ある上尾RCさんと呼ばれたことを心から感謝申し上げます。大塚バスターグバナー年度には財団で、また尾花さん・丹井さんにも地区でたいへんお世話になりました。懐かし、そして本日もお会いできて嬉しく思います。私は岩槻RCに入会して27年経ちます。大宮RCをスポンサーに上尾・大宮西・岩槻の3クラブが子クラブとして1963年(昭和38年)に認証されました。なので上尾・大宮西・岩槻は3兄弟なんですね。それでは卓話に移ります。よろしくお願いいたします。



◇「会員増強」とは「組織強化」である

元RIメンバーシップ・ゾーン・コーディネーター渡邊隆氏(習志野RC)は「会員増強を会員数の増加としてのみ捉えるのではなく、会員組織の強化の問題として考えることが必要です」と強調されました。会員増強という言葉には三つの意味が込められていると考えます。

1. クラブ組織の強化
2. 会員一人一人の資質・能力の開発
3. (増強) 活動の結果としての会員数の増大

近年、ロータリー全体の会員数減少が大問題となっていますが、これは「ロータリーの危機」の結果、ロータリー理念に対する無理解や会員組織の硬直化・弱体化によってロータリーの魅力が失われた結果なのです。量的減少ではなく質の低下が「危機」なのだと考えなければ、21世紀のロータリーの真の発

★結局「会員増強」は何のためか

近年、ロータリー全体の会員数減少が大問題となっていますが、これは「ロータリーの危機」の結果、ロータリー理念に対する無理解や会員組織の硬直化・弱体化によってロータリーの魅力が失われた結果なのです。量的減少ではなく質の低下が「危機」なのだと考えなければ、21世紀のロータリーの真の発展は望みません。
質の向上を含意した意味での「会員増強」は、結局ロータリアン一人一人の「奉仕の理想」の実践活動なのです。

「会員増強」とは「組織強化」である
RID2840 本田博巳 PDG2013-14 投稿より引用

展は望みません。質の向上を含意した意味での「会員増強」は、結局ロータリアン一人一人の「奉仕の理想」の実践活動なのです。(RID2840本田博巳PDG2013-14 投稿より引用)

クラブの硬直化とは、組織がその目的を見失ったり、目標達成する意欲をなくしたり成功体験におぼれて前例主義・画一化・リスク回避や変革を厭う体質になったり、組織構成員間のコミュニケーションが不足して機能不全に陥った状態を言います。クラブ組織の硬直化を防ぎ、そこから脱するためには、ロータリー理念を深く理解し、クラブのビジョンやアイデンティティを繰り返し確認しながら魅力的なクラブ作り全員で取り組む必要があります。クラブの活性化は、私たちの永遠の課題です。

◇ロータリーとは

1905年にシカゴで創設されたロータリーは、現在、職業・国・文化が異なる120万人を超える会員からなるネットワークであり、地域社会での草の根活動や世界的な人道支援を通じて世界に変化を生み出しています。

ロータリーは、会員同士の友愛を通じて生涯にわたる友を作り、国や文化を超えて全世界の人々と国際理解を深め、友情を育みます。そして、社会の倫理・道徳を高めながら、会員一人一人のスキルアップを生かし、地域社会や世界の問題に積極的に取り組んでいます。

★ロータリーとは？

◇ロータリーの定義

ロータリーは、事業、専門職務、地域社会のリーダーによって構成され、親睦と寛容、個人の資質の向上、事業の維持・発展に努めるとともに、家庭や仲間、職場、地域、国際社会における幸福の達成に寄与する「奉仕の心と実践」に満ちた立派なロータリアンを育てる世界的な団体である。

もっと簡単に言えば

ロータリーは、
①ロータリアン同士の親睦を基に、【親睦】
②立派なロータリアンを育てながら、【学び】
③価値ある奉仕を通じて、【奉仕】
社会に貢献する世界的な団体である。

★ロータリーとは

◇ロータリーの奉仕哲学(奉仕理念、奉仕の理想、奉仕の理論)

- ・2006年以降、「ロータリーの奉仕哲学」＝「超我の奉仕という人生哲学」である。
- ・ロータリーの奉仕の哲学とは、(美生活上、実に道理にかなった『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』という言葉や原理・原則とした、利己と利他の心をうまく調和させる)超我の奉仕という人生哲学のことである。
- ・手続き要覧とロータリーの章典では、決議23-34の「超我の奉仕という人生哲学」を「ロータリーの奉仕哲学」と定義している。

組んでいます。

一言でいえば、ロータリーは、利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です。

それではロータリーの定義とは何でしょう。ロータリーは、事業、専門職務、地域社会のリーダーによって構成され、親睦と寛容、個人の質の向上、事業の維持・発展に努めるとともに、家庭や仲間、職場、地域、国際社会における幸福の達成に寄与する「奉仕の心と実践」に満ちた立派なロータリアンを育てる世界的な団体です。もっと簡単に言えばロータリーは ①ロータリアン同士の親睦を基礎に【親睦】、②立派なロータリアンを育てながら【学び】、③価値ある奉仕を通じて【奉仕】、社会に貢献する世界的な団体です。

次にロータリーの奉仕哲学についてです。ロータリーの奉仕の哲学とは、美生活上、実に道理にかなった『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』という言葉や原理・原則とした、利己と利他の心をうまく調和させる、超我の奉仕という人生哲学のことです。これは手続き要覧とロータリーの章典の決議23-34の中で「超我の奉仕という人生哲学」をロータリーの奉仕哲学と定義しています。

◇ロータリーの目的は、4つあるの？

ロータリーの目的は、原文がOBJECT OF ROTARYという単語であることに注目してください。「目的」は一つなのです。4項目の全文のように見える最初の2行が、実は本文で、ここにロータリーの目的が端的に表現されています。すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」、これがロータリーの目的です。後に続く4項目は、本文の目的を達成するためにロータリアンが如何に行動・実践すべきかが書かれており、いわば本文の補足条項と言ってもいいでしょう。

★ロータリーとは

・ロータリーの標語 (ROTARY MOTOS)

ロータリーの第一標語：『超我の奉仕』
(人道的奉仕理念)：『SERVICE ABOVE SELF』

ロータリーの第二標語：『最も良く奉仕するもの最も多く報いられる』
(職業奉仕の理念)：『THE PROFIT MOST WHO SERVICE BEST』

◇ロータリーの奉仕の理念

基本理念『奉仕の理想(理念)』は「他人のことを思いやり、他人のために尽くすことである」。ロータリーは基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は、奉仕＝SERVICEの哲学であり、HE (ONE) PROFIT MOST WHO SERVICE BESTという実践的な倫理原則に基づくものであります。

◇2つのモットー

ロータリーの第一標語、『超我の奉仕』とは人道的奉仕理念です。

ロータリーの第二標語、『最も良く奉仕する者、最も多く報いられる』とは職業奉仕の理念です。

◇決議23-34とは

かつてロータリーではなく、ロータリアンの心に「奉仕の心を形成」することがロータリーの本質とする理論派と、「奉仕活動の実践」こそロータリアンの使命だとする実践派がいました。この論争に玉虫色の決着をつけたのが、1923年に開催されたセントルイス国際大会で採択された、折衷案の決議23-34です。内容は

1. 奉仕実践は個人が原則
2. クラブが行う奉仕活動はサンプルとして認める

★理論派と実践派の論争(決議23-34とは)

理論派・・・ロータリアンの心に「奉仕の心を形成」することがロータリー運動の本質だ。
個々の会員が個人の奉仕活動として実施するか、自分が属している職場や地域 社会の団体活動として実施すればよいのであってクラブはあくまでも、どのような社会的ニーズがあるのかを提唱するだけ。どうしても、地域社会に何かしたいのであれば、職業上得られたPROFITから個人的に行ったらよい、という考え方式でした。

実践派・・・「奉仕活動の実践」こそロータリアンの使命だ。
現実には身体障害者や貧困などの深刻な社会問題が山積し、これまでにロータリークラブが実施した社会奉仕活動の効力。

というもので、この採択によって論争に終止符が打たれ、両派の対立は取り敢えず解消したことになります。決議23-34の第1条は先ほどお伝えした「ロータリーの奉仕の理念」が説かれています。第2条にはロータリークラブの役割について書かれています。第3条は国際ロータリーの役割について書かれています。第4条にはロータリー運動は単なる理念の提唱ではなく、実践哲学であると書かれています。奉仕する者は行動しなければなりません。第5条にはクラブの自治権が書かれ、第6条には社会奉仕実践の指針が書かれています。

最後に皆さんに言葉を贈ります。

人を育てるということは
つまり自信を育てるということ
人を教え導くための基本は愛情
愛情なくして
信頼関係は
生まれ
信頼がなければ
組織そのものが
成り立たない

本日はご清聴いただきありがとうございます。



鈴木隆様、卓話いただきありがとうございました。

鈴木隆様(岩槻RC)：創立60周年 誠にありがとうございます！

深澤会長／門崎幹事／長沼副会長／大塚信郎会員／村岡会員／尾花会員／

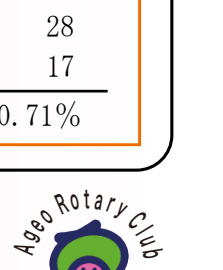
大木保司会員／細野会員／久保田会員／須田会員／宇多村会員／斎藤修弘会員／

小田切会員／丹井会員／大木隆寛会員／関口良康会員／山崎会員

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799



出席率

会員数 34
出席免除 7
出席対象者 28
出席者数 17

60.71%